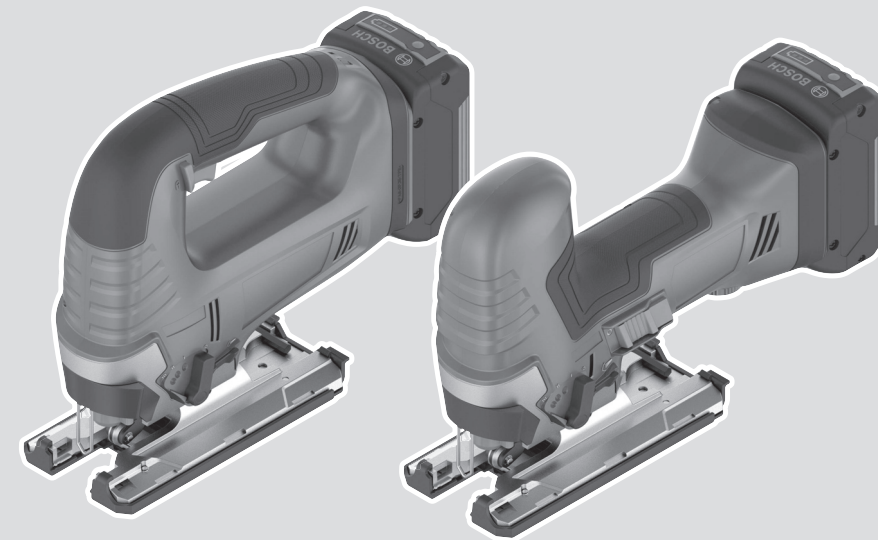




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 88E

1 609 92A 88E (2022.10)

GST 18V-125 B GST 18V-125 S



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスジグソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全規則.....	3
警告表示の区分	3
一般安全規則	3
記号について	8
●安全上のご注意.....	9
コードレス電動工具全般についての注意事項	9
ジグソーについての注意事項	14
●本製品について	16
用 途.....	16
各部の名称.....	17
標準付属品.....	19
仕 様.....	20
●使い方	22
バッテリーを準備する	22
作業前の準備をする.....	25
作業する	28
傾斜角度をつけて切断する	37
ポケット切断をする.....	39
アクセサリを使う(別売品を含む)	41
吸じんシステム(別売品)と接続する	47
●バッテリーを長持ちさせるために.....	49
●リサイクルのために	49
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	49
●お手入れと保管	50
クリーニング.....	50
ジグソーブレードのお手入れ	50
保 管.....	51
電動工具(本体)の廃棄について	51

安
全

つ本
い製
品
てに

使
い
方

つバ
ッテ
リー
に

保お
手入
れと
管

困
った
とき
は

● 困ったときは	52
故障かな?と思ったら.....	52
修理を依頼するときは.....	53

安

全

つ本
い製
品
てに

使
い
方

つバ
いッ
テリ
ーに
てに

保お
手入
れと
管と

困
っ
た
と
き
は

安全規則

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則



警 告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。



a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
 - ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
 - ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
 - ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボツシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
 - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

安
全

安

全

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱いなれていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

安

全

f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の人には電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

g) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
 - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安
全

	直流
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
 Li-ion XX	リサイクル識別表示マーク(リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

安
全

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

危 険

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**
- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- **コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

安

全

● 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

● バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

- ◆ 短絡の恐れがあります。

● バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警 告

● 正しく充電してください。

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。

● 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。

- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。

- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- 作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

安

全

安

全

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - －できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - －作業場所の換気に注意してください。
 - －DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。

- ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。

- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。

- ◆ 容易に発火する恐れがあります。

- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。

- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。

- ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。

- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

●安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

●搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

安

全

⚠ 注 意

●先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

- ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

●電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

●破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ジグソーについての注意事項

安
全

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、ジグソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠ 警 告

- 作業中は、電動工具本体を確実に保持してください。
 - ◆ 確実に保持しないと、振り回されたりし、けがの原因になります。
- 作業中は、ジグソーブレードや切り粉の排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
- 作業中は、電源コードを傷つけないよう注意し、常に機体の後方に離してご使用ください。
 - ◆ 電源コードを傷つけると、感電や故障の原因になります。
(コードレス電動工具には該当しません。)

⚠ 注 意

- 傷んでいない完全な状態のジグソーブレードのみを使用してください。
 - ◆ 折れ曲がったジグソーブレードや切れ味が悪いジグソーブレードは破損、不良切断、またはキックバックの原因になります。
- 切断が終わったら電源を“切”にし、ジグソーブレードが完全に停止するのを待ってから、電動工具を切断部から抜き取ってください。
 - ◆ このようにしないと、キックバックが発生する危険があります。
- 電源を“切”にしたあと、ジグソーブレードの側面に圧力をかけて止めないでください。
 - ◆ ジグソーブレードが破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

- 作業直後の工具類(ジグソーブレードなど)、材料、切り粉などは非常に熱くなっていますので、触れないでください。

- ◆ やけどの原因になります。

- 先端工具が完全に停止するまでは、電動工具を床やテーブルなどに置かないでください。

- ◆ 先端工具が回転していると、表面に引っ掛かり、電動工具が引っ張られることがあります。

安

全

- 切断中は、「SDSレバー」に触れないでください。

- ◆ ジグソーブレードが外れたりし、けがの原因になります。

- 工具類(ジグソーブレードなど)の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行ってください。

- ◆ けがの原因になります。

- 作業時以外でもジグソーブレードに触れないよう注意してください。

- ◆ 不用意に触れると、けがの原因になります。

本製品について

用 途

◆ 木材やアルミニウム、軟鋼板、プラスチックなどの切断*1

本製品について

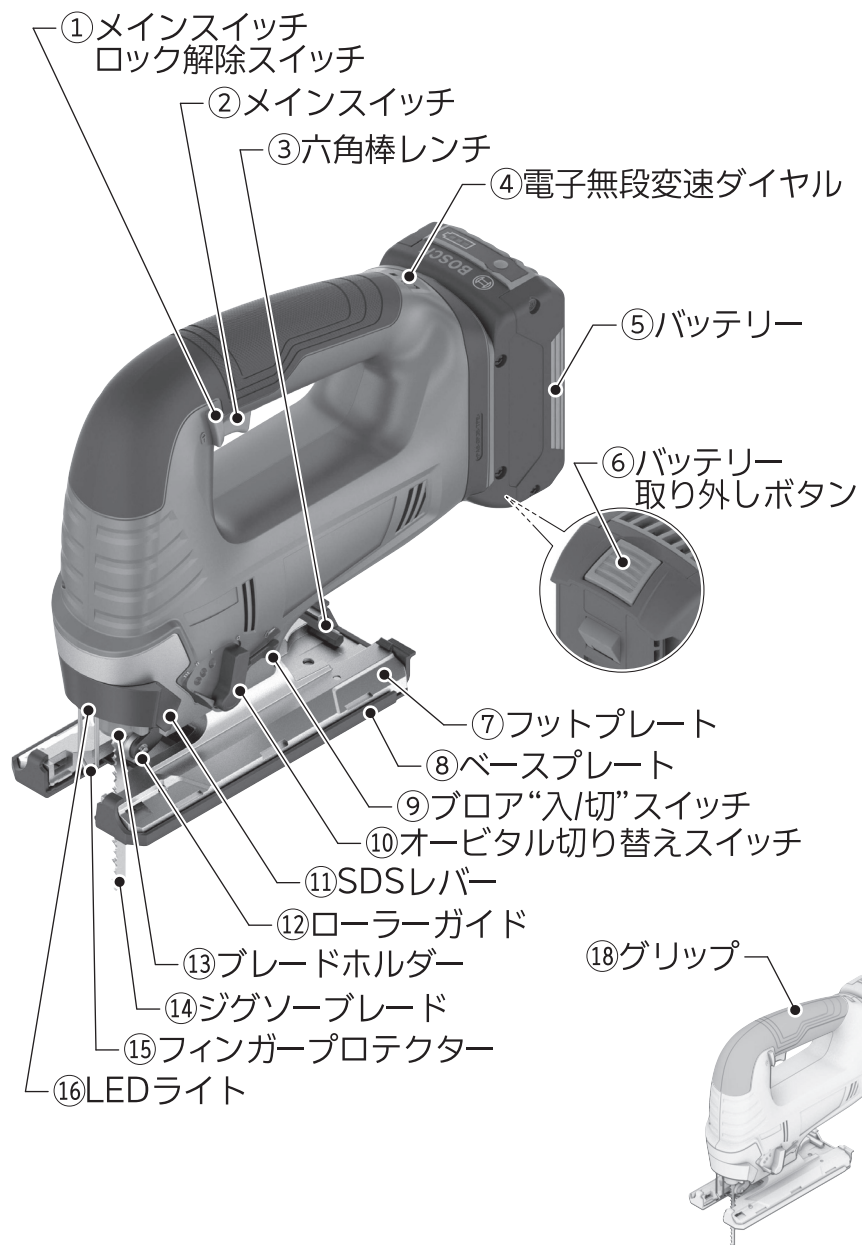
*1 垂直切断、傾斜切断(左右に最大45°)、ポケット切断(木材などの軟らかい材料の中抜き)などがあります。

☞ ジグソーブレードの推奨事項を順守してください。

☞ LEDライト⑩の灯りは、作業を行う箇所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

各部の名称

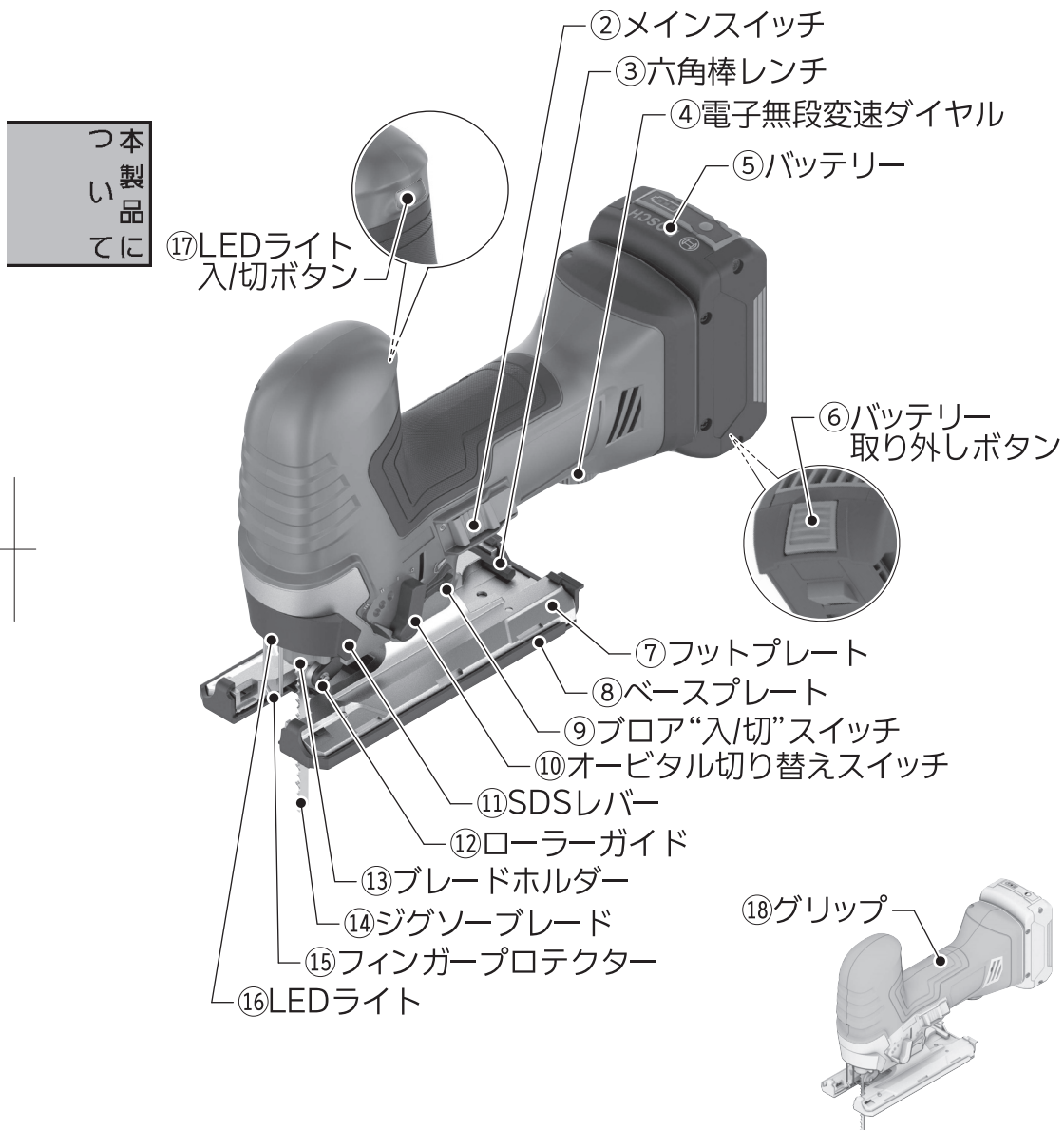
GST 18V-125 B



本
製
品
に
つ
い
て

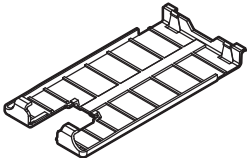
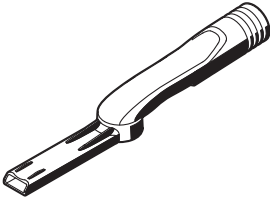
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

GST 18V-125 S



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

モデル名	GST 18V-125 B	GST 18V-125 S
型 番	GST 18V-125 BH	GST 18V-125 SH
 バリ止めガイド	1個	1個
 透明防じんカバー	1個	1個
 ベースプレート	1個	1個
 吸じんアダプター	1個	1個
 六角棒レンチ (5mm)	1個	1個

本製品に
付属

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

電動工具本体

モデル名	GST 18V-125 B	GST 18V-125 S
型 番	GST 18V-125 BH	GST 18V-125 SH
定格電圧	D.C.18V	D.C.18V
ストローク数	0~3,500min ⁻¹ (回/分)	500~3,500min ⁻¹ (回/分)
ストローク幅	26mm	26mm
傾斜切断角度	左右0~45°	左右0~45°
最大切断能力(厚さ)		
木 材	125mm	125mm
アルミニウム	20mm	20mm
軟鋼板	10mm	10mm
質 量*2*3	2.4~3.4kg	2.3~3.3kg
推奨充電周囲温度範囲	0℃~+35℃	0℃~+35℃
使用可能周囲温度範囲*4	-20℃~+50℃	-20℃~+50℃
保管可能周囲温度範囲	-20℃~+50℃	-20℃~+50℃
振動3軸合成値*5		
木工切断時	4.1m/s ²	7.0m/s ²
軟鋼板切断時	3.5m/s ²	7.0m/s ²
原産国	中国	中国

*2 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*3 使用するバッテリーの容量により異なります。

*4 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

*5 EN62841-2-11規格に基づき測定

本
製
品
に
つ
い
て

使用可能ボッシュ充電器(別売品)

品 番	AL 18... *6 GAL 18... GAL 3680CV
-----	--

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー(別売品)

品 番	A 18... *6 GBA 18V... ProCORE 18V... (4.0Ah以上)
-----	--

*6 プロフェッショナル18Vシリーズに限る

👉 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

本製品
に
つ
い
て

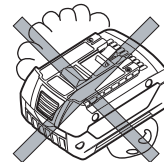
使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



使
い
方

● バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みにになり、正しく充電してください。

● バッテリー残量表示

バッテリー⑤の残量状態を、バッテリー残量表示ランプで確認することができます。

「バッテリー残量表示ボタン」を押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 安全のため、電動工具本体が停止しているときのみ、充電状態を確認することができます。

☞ 「バッテリー残量表示ボタン」を押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー⑤が損傷しています。
バッテリー⑤を交換してください。

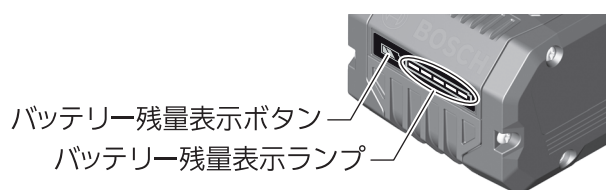
☞ 充電状態は、バッテリー⑤を電動工具本体から外していても、確認できます。

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60～100%
緑色2つ点灯	30～60%
緑色1つ点灯	5～30%
緑色3つ点滅	0～5%

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%

使
い
方

● バッテリーを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチロック解除スイッチ①」のロック(🔒)側が押し込まれていることを確認してください。(GST 18V-125 B)
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチ②」が“切”の位置になっていることを確認してください。(GST 18V-125 S)

取り付け

バッテリー⑤を、電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

🔧 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑥」が押されただけではバッテリー⑤が外れないよう、バッテリー⑤の取り付けが二重ロックになっています。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し



注意

- ◆ バッテリー⑤を引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン⑥」を押しながら、バッテリー⑤を電動工具本体から引き抜きます。

使
い
方

作業前の準備をする

● ジグソーブレードを選ぶ

材料の材質と厚みに合ったジグソーブレード⑭を選んでください。

木材・プラスチックの切断 木工用のジグソーブレード

金属などの切断 金工用のジグソーブレード

☞ きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のジグソーブレード⑭を使用してください。

☞ Tシャンク・ジグソーブレードのみを使用してください。

☞ 金属切断の場合、切削オイルスプレーなどを使用すると、ジグソーブレード⑭が長持ちします。

使
い
方

● ジグソーブレードを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ジグソーブレード⑭を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。
- ◆ 損傷したジグソーブレード⑭は、使用しないでください。曲がったり、切れ味が悪くなったジグソーブレード⑭を使用すると、キックバックの原因になります。



注意

- ◆ 切断直後、ジグソーブレードは⑭高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ ジグソーブレード⑭の取り付け・取り外しをするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
- ◆ 弊社指定のジグソーブレード⑭を使用してください。

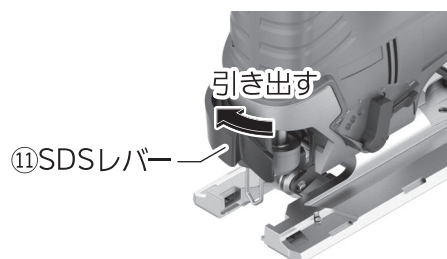
☞ ジグソーブレード⑭の取り付け・取り外しをするときは、透明防じんカバーを取り外して作業を行ってください。

取り付け

1. 取り付けるジグソーブレード⑭の挿入部分を掃除します。

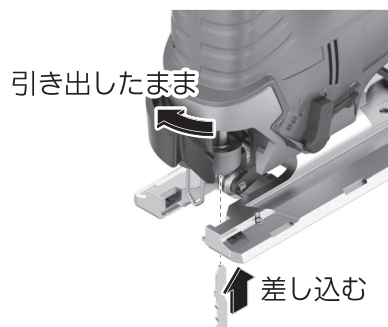
☞ 挿入部分が汚れていると、しっかり固定できません。

2. SDSレバー⑪を矢印の方向に引き出して保持します。

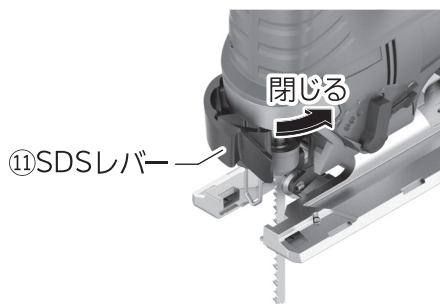


3. SDSレバー⑪を引き出したまま、ジグソーブレード⑭をローラーガイド⑫の溝に当てて押し込みます。ジグソーブレード⑭は、歯を切断方向に向けて差し込んでください。

☞ うまく差し込めないときは、ジグソーブレード⑭をいったん外し、SDSレバー⑪から手を離して元に戻し、1項からやり直してください。



- ジグソーブレード⑭を奥までしっかり差し込み、SDSレバー⑪から手を離します。
SDSレバー⑪から手を離すと、SDSレバー⑪が閉じます。



- ジグソーブレード⑭が確実に取り付けられているか、ジグソーブレード⑭を引いて確認します。
抜けなければ、取り付け完了です。



注意

- ◆ ジグソーブレード⑭が確実に取り付けられているか、必ず確認してください。確実に取り付けられていないと、ジグソーブレード⑭が脱落してけがをする恐れがあります。

使
い
方

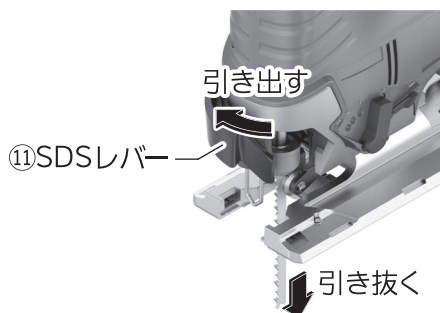
取り外し



注意

- ◆ けがや事故を防ぐため、イラストの向き (ジグソーブレード⑭が下向き) でジグソーブレード⑭を取り外してください。

- SDSレバー⑪を矢印の方向に引き出して保持しながら、ジグソーブレード⑭を引き抜きます。



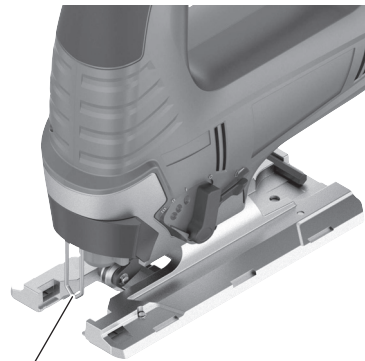
- SDSレバー⑪から手を離します。
SDSレバー⑪から手を離すと、SDSレバー⑪が閉じます。

作業する



警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、電動工具本体を確実に保持して作業してください。
- ◆ フィンガープロテクター⑮は、取り外すことができません。無理に取り外さないでください。



⑮フィンガープロテクター



注意

- ◆ LEDライト⑯点灯中に、LEDライト⑯を直接のぞき込まないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

使
い
方

温度依存性の過負荷保護

正常な使い方では、この電動工具は過負荷状態になることはありません。

電動工具本体が過負荷になった場合や、バッテリー⑤が許容温度範囲外で上がったたり下がったりした場合、回転速度が遅くなるか電源が切れます。

回転速度が遅くなった場合は、バッテリー⑤が許容温度範囲内になるまで最高速度では回転しません。

電源が切れた場合は、「メインスイッチ②」を離す (GST 18V-125 B) または“切”の位置にし (GST 18V-125 S)、バッテリーが冷めてから電源を“入”にしてください。

電子セル保護システム (ECP機能)

本機には、電子セル保護システム (ECP機能) がついております。

電動工具本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために電動工具本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

電動工具本体が停止している状態で「メインスイッチ②」を引き込み続けたり、“入”の位置のままにすると、故障の原因になります。電動工具が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

1 ジグソーブレード⑭を点検する

下記を点検してください。問題があった場合は、対処してください。

- ジグソーブレード⑭はボツシュタイプのものか？
- ジグソーブレード⑭が曲がっていないか？
- ジグソーブレード⑭の歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

2 材料に釘などの異物がないことを確認する



注意

◆ 釘などの異物を切断すると、歯先が欠けたり、反発によりけがをしったりする恐れがあります。

3 「ブロー“入/切”スイッチ⑨」を切り替える

本機は、けがき線上の切り粉を吹き飛ばすブロー（送風）機構を搭載しています。

入 ()

多量の切り粉が発生する木材やプラスチックなどの切断時

☞ 「ブロー“入/切”スイッチ⑨」を右図の位置にするとエアが噴き出して、けがき線上の切り粉を吹き飛ばします。



切 ()

金属の切断時や冷却剤・潤滑剤使用時、吸じんシステム接続時



使
い
方

4 「電子無段変速ダイヤル④」でストローク数を調節する

「電子無段変速ダイヤル④」の調節により、ストローク数（回転スピード）が調節できます。

ストローク数を調節することにより、材料により適した切断が可能となります。

ダイヤルを数字の大きい方へ回すと高ストロークになり、数字の小さい方へ回すと低ストロークになります。

☞ 最適なストローク数は、使用するジグソーブレード⑭や切断する材料、作業条件によって異なります。

試し切断をして、最適なストロークに調節してください。

☞ ストローク数は、作業中でも変更できます。

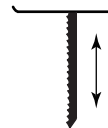
☞ プラスチックやアルミニウムなどを切断するときは、ストローク数を低めに設定し、焼きつきを防止してください。

5 「オービタル切り替えスイッチ⑩」を切り替える

- ✎ オービタル動作を選ぶと、ジグソーブレード⑭は上下運動に加え、前後に振り子運動をします。上下運動だけの場合と比べ、切断速度を高めることができ、効率の良い切断作業が行えます。反面、切断面が粗くなったりささくれが出やすくなったりします。
- ✎ 切断内容や材質に合わせて、「オービタル切り替えスイッチ⑩」を切り替えてください。
- ✎ 試し切断をして、最適なオービタル動作を決めてください。
- ✎ 「オービタル切り替えスイッチ⑩」の切り替えは、切断中でもできます。
- ✎ きれいな切断面を得るにはオービタル動作“小”を選択してください。

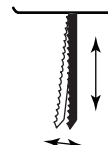
鉄板や薄くて硬い金属板などの切断や木材などの仕上げ切断
ジグソーブレードの下向き刃、ナイフ刃使用時

使
い
方



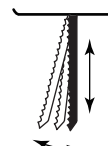
オービタル動作:なし

鉄・アルミニウム・非鉄金属などの切断



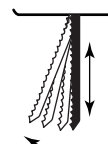
オービタル動作:小

軟質非鉄金属・アルミニウム・プラスチック・木材などの切断



オービタル動作:中

木材やプラスチックなどの高速切断



オービタル動作:大

6 電動工具本体にバッテリー⑤を取り付ける



警告

- ◆ 「メインスイッチロック解除スイッチ①」のロック(🔒)側が押し込まれていることを確認してから、バッテリー⑤を取り付けてください。(GST 18V-125 B)
- ◆ 「メインスイッチ②」が“切”の位置になっていることを確認してから、バッテリー⑤を取り付けてください。(GST 18V-125 S)
- ◆ バッテリー⑤を取り付けるときは、電動工具本体を下向き(ジグソーブレード⑭が下向き)にして差し込んでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー⑤以外は、取り付けしないでください。指定外のバッテリー⑤を取り付けると、電動工具が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

バッテリー⑤を電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

使
い
方

7 電源を“入”にする

- ☞ 電源は、ジグソーブレード⑭が切断する材料に当たらない位置で“入”にしてください。

GST 18V-125 B

「メインスイッチロック解除スイッチ①」の解除(🔓)側を押し込み、「メインスイッチ②」を引き込みます。

「メインスイッチロック解除スイッチ①」の解除(🔓)側が押し込まれていないと、「メインスイッチ②」は引き込めません。



電源を切るときは、「メインスイッチ②」から指を離します。

- ☞ 「メインスイッチ②」を引き込むとLEDライト⑯が点灯し、切断箇所が暗いときに照らすことができます。
LEDライト⑯点灯中に、ライトを直接のぞかないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。
- ☞ 「メインスイッチ②」は“入”の状態では固定されません。引き込み続けてください。
- ☞ 「メインスイッチ②」を引き込む加減でストローク数(回転スピード)が調節できます。
「メインスイッチ②」を軽く引き込むと低いストロークになり、いっぱいまで引き込むと最高ストロークになります。

GST 18V-125 B



注意

◆ グリップ⑱を握ったまま「メインスイッチ②」が操作できることを確認してください。

1. 「メインスイッチ②」が操作できる位置でグリップ⑱を握ります。
2. 「メインスイッチ②」を電動工具本体の先端方向（ジグソーブレード⑭側）にスライドさせます。
止まるまでしっかりスライドさせてください。
スイッチは固定され、連続運転します。

電源を切るときは、「メインスイッチ②」を電動工具本体の後方（バッテリー⑤側）にスライドします。

使
い
方

- ☞ 意図しない起動を防ぐため、「メインスイッチ②」を止まるまでしっかりスライドさせないと電源が“入”になりません。
- ☞ LEDライト⑮を点灯させるときは、「LEDライト入/切ボタン⑰」を押します。
再度「LEDライト入/切ボタン⑰」を押すと、LEDライト⑮は消灯します
LEDライト⑮点灯中に、ライトを直接のぞかないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

8 切断を始める



警告

- ◆ 切断中に振り回されないよう、電動工具本体を両手でしっかり保持して、作業してください。
- ◆ 材料をしっかりと固定してから切断を行ってください。



注意

- ◆ 電源を“入”にしてからジグソーブレード⑭を材料に当ててください。
- ◆ 切断時、電動工具本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、ジグソーブレード⑭を傷めて作業効率が下がったり、電動工具本体が故障したりします。
- ◆ 切断中は、材料の下に手を入れないでください。手や指をけがする恐れがあります。
- ◆ 切断中は、手をジグソーブレード⑭の前に置かないでください。手や指をけがする恐れがあります。
- ◆ 切断中は、SDSレバー⑪に触れないでください。触れるとジグソーブレード⑭が外れる恐れがあります。

使
い
方

- ☞ 切断開始時は、フルストロークで強く切り込まないでください。
- ☞ ジグソーブレード⑭が材料にかみ込んだときは、すぐに電動工具本体の電源を“切”にしてください。
- ☞ 低いストロークで長い時間作業すると、電動工具本体が熱くなります。熱くなったときは、ジグソーブレード⑭を電動工具本体から取り外し、最高速で3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷ましてください。
- ☞ 小さい、または薄い材料を切断するときは、必ず安定した台を使用してください。

切り始めは、ジグソーブレード⑭をゆっくり材料に押し付けてください。

木材を切る場合

- 木工用のジグソーブレード⑭を使用してください。
- 電源を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

金属などを切る場合

- 金工用のジグソーブレード⑭を使用してください。
- 電源を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
- 切削オイルスプレーなどを使用するとジグソーブレード⑭が長持ちします。

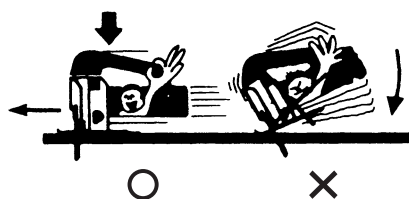
プラスチックを切る場合

- プラスチック用のジグソーブレード⑭を使用してください。
- 電源を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

上手に切断するポイント

- ポイント1. 材料の材質と厚みに合ったジグソーブレード⑭を選んでください。きつい曲線を切断する場合は、刃厚の薄いジグソーブレード⑭を使用してください。
- ポイント2. ジグソーブレード⑭の動きが鈍くならない程度に電動工具本体を前に進めてください。無理に力を入れたり、前に進めすぎても、速く切れません。
- ポイント3. 切断作業中、フットプレート⑦の全面が切断材料に接するようにしっかりと押しつけてください。

使
い
方



9 切断作業を終了する

GST 18V-125 B

- 「メインスイッチ②」から指を離すとジグソーブレード⑭が止まります。
- 「メインスイッチロック解除ボタン①」のロック (🔒) 側を押し込みます。

GST 18V-125 S

「メインスイッチ②」を電動工具本体の後方 (バッテリー⑤側) にスライドさせます。

- ☞ 切断の途中でいったん作業を中止するときは、電動工具本体を後方 (切断開始位置の方向) へ移動させ、材料からジグソーブレード⑭を引き抜いてから電源を“切”にしてください。
- ☞ 電源を“切”にしたあと、ジグソーブレード⑭の動きを何かに押しつけて急激に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。
- ☞ ジグソーブレード⑭の動きが完全に止まってから、床などへ置いてください。

● フットプレートを後退させる

壁際まで垂直に切断する場合、フットプレート⑦を後方に移動できます。



警告

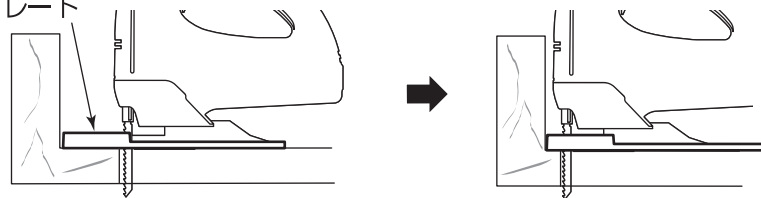
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、フットプレート⑦の位置を調整するときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。



注意

- ◆ ジグソーブレード⑭は不用意に触れると危険です。けがの発生を防ぐため、取り扱いには注意してください。

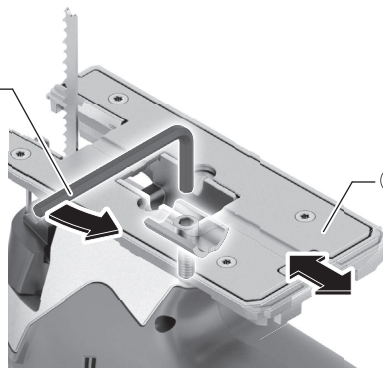
⑦フットプレート



使
い
方

- ☞ バリ止めガイド、円曲・平行ガイド (別売品) は使用できません。
- ☞ 傾斜切断はできません。
- ☞ 透明防じんカバーは取り付けできません。

③六角棒レンチ



⑦フットプレート

1. バリ止めガイド、透明防じんカバー、円曲・平行ガイドが取り付けられていないことを確認します。
取り付けられているときは、取り外してください。
2. 六角棒レンチ③ (標準付属品) でフットプレート固定ネジを緩めます。
3. フットプレート⑦を最後端までスライドさせます。

4. 六角棒レンチ③でフットプレート固定ネジを締めて、フットプレート⑦を固定します。

 確実に固定されているか確認してください。

使
い
方

傾斜角度をつけて切断する



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、フットプレート⑦の角度を調節するときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

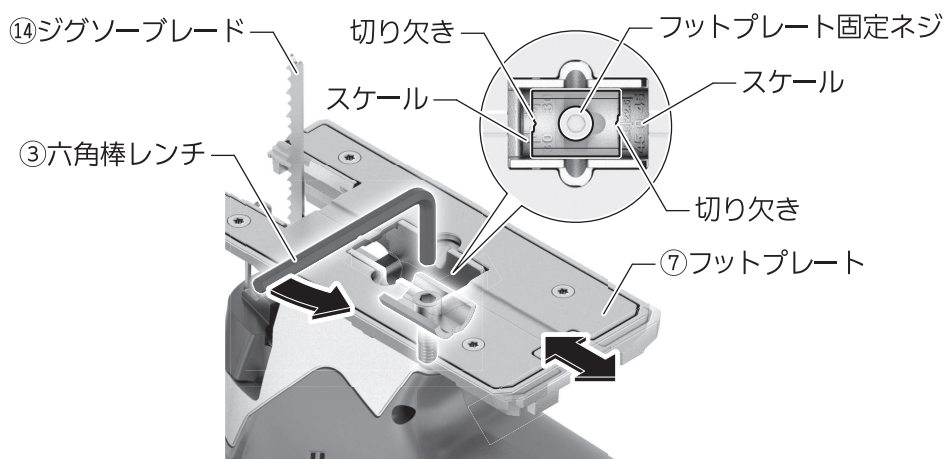


注意

- ◆ ジグソーブレード⑭は不用意に触れると危険です。けがの発生を防ぐため、取り扱いには注意してください。

フットプレート⑦を右または左に回転させ、最大45°の傾斜切断ができます。

- 🚫 バリ止めガイドは使用できません。
- 🚫 透明防じんカバーは取り付けできません。
- 🚫 吸じんシステム(別売品)は接続できません。



使
い
方

1. バリ止めガイド、透明防じんカバー、防じんシステムが取り付けられていないことを確認します。
取り付けられているときは、取り外してください。
2. 六角棒レンチ③(標準付属品)でフットプレート固定ネジを緩めます。
3. フットプレート⑦を最後端までスライドさせます。

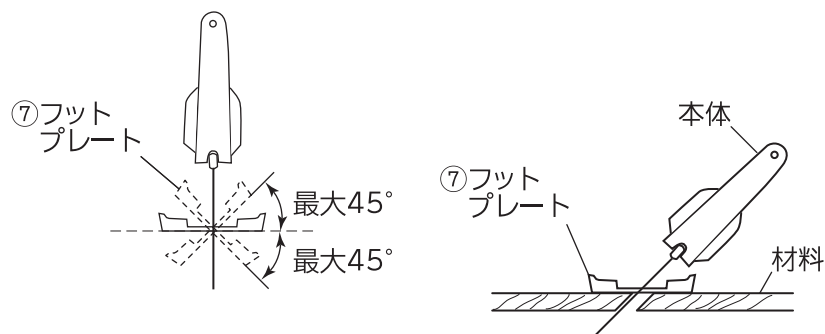
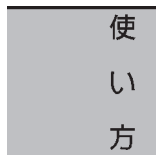
4. フットプレート⑦の角度を調節します。

既定の角度(0°、15°、30°、45°)に調節する

スケールの目盛り(0°、15°、30°、45°)に、切り欠きを合わせます。

任意の角度に調節する

分度器等を使用して、任意の角度に調節します。フットプレート⑦は左右に最大45°まで傾けられます。



5. フットプレート⑦を前方(ジグソーブレード差し込み口側)に、止まるまでスライドさせます。
6. 六角棒レンチ③でフットプレート固定ネジを締めてフットプレート⑦を固定します。

 フットプレート⑦が確実に固定されているか確認してください。

7. 「作業する」(28ページ)の①項～⑨項の手順で切断します。

ポケット切断をする

ポケット切断では、木材や石こうボードなど軟らかい材料の中抜きができます。



警告

◆ ポケット切断をするときは、『切断する』の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから行ってください。

- ☞ 傾斜切断はできません。
- ☞ アルミニウム、軟鋼板、ステンレス等金属の切断はできません。
- ☞ ジグソーブレードは、有効長80mm以内のものを使用してください。

GST 18V-125 B

1. 「電子無段変速ダイヤル④」を最高ストロークにします。
2. フットプレート⑦の先端部を材料に当て、電動工具本体を確実に保持します。
 - ☞ ジグソーブレード⑭は材料に当てないでください。
3. 「メインスイッチロック解除スイッチ①」の解除 (🔓) 側を押し込み、「メインスイッチ②」を引き込みます。
4. フットプレート⑦の先端部を支点にしてジグソーブレード⑭をゆっくりと押し込んでいきます。
 - ☞ 支点(フットプレート⑦の先端)が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
 - ☞ 切断を急がずに、ゆっくりジグソーブレード⑭を押し下げてください。



5. フットプレート⑦の下面すべてが材料に接したら、けがき線に沿って切断を続けます。



使
い
方

6. 切断が終わったら、「メインスイッチ②」から指を離し、電動工具本体を材料から離します。
7. 「メインスイッチロック解除スイッチ①」のロック(🔒)側を押し込みます。

GST 18V-125 S

 **注意** ◆ グリップを握ったまま「メインスイッチ②」が操作できることを確認してください。

使
い
方

1. 「電子無段変速ダイヤル④」を最高ストロークにします。
2. 「メインスイッチ②」が操作できる位置でグリップを握ります。
3. フットプレート⑦の先端部を材料に当て、電動工具本体を確実に保持します。
 ジグソーブレード⑭は材料に当てないでください。
4. 「メインスイッチ②」を本体の先端方向(ジグソーブレード⑭側)にスライドさせます。
止まるまでしっかりスライドさせてください。
スイッチは固定され、連続運転します。
 意図しない起動を防ぐため、「メインスイッチ②」を止まるまでしっかりスライドさせないと電源が“入”になりません。
5. フットプレート⑦の先端部を支点にしてジグソーブレード⑭をゆっくりと押し込んでいきます。
 支点(フットプレート⑦の先端)が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
 切断を急がずに、ゆっくりジグソーブレード⑭を押し下げてください。
6. フットプレート⑦の下面すべてが材料に接したら、けがき線に沿って切断を続けます。
7. 切断が終わったら、「メインスイッチ②」を本体の後方(バッテリー⑤側)にスライドさせ、電動工具本体を材料から離します。

アクセサリーを使う(別売品を含む)

● バリ止めガイド(標準付属品)を使う(木工切断用)

バリ止めガイドを使うと、切断面のささくれを防ぎます。

- ☞ あさり歯のジグソーブレードは併用できません。
- ☞ 傾斜切断時は使用できません。



警告

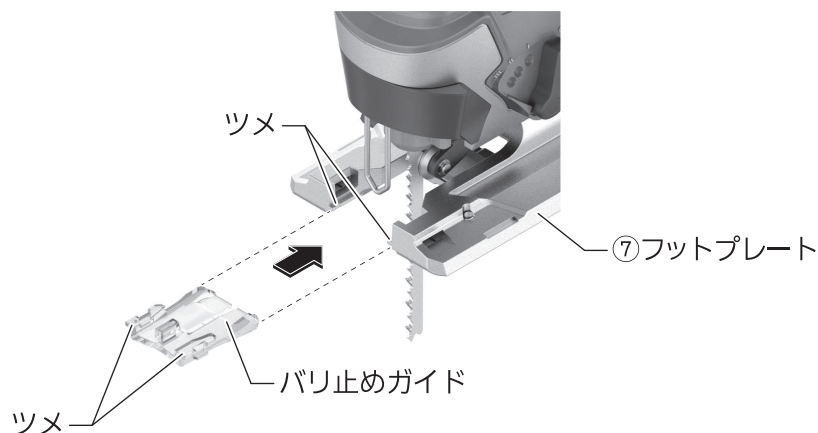
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バリ止めガイドを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

取り付け

フットプレート⑦のツメに、バリ止めガイドのツメを合わせて差し込みます。一番奥の部分がカチッとハマるまで押し込んでください。

バリ止めガイドは、平らな部分が多い面を下向きにして取り付けてください。

使
い
方



フットプレート⑦とバリ止めガイドが平らになっていることを確認してください。

- ☞ ベースプレート⑧を取り付けているときは、ベースプレート⑧のツメに合わせて差し込んでください。



注意

- ◆ バリ止めガイドを取り付けて使用するときは、フットプレート⑦を後方に動かさないでください。後方に動かすと、ジグソーブレード⑭がバリ止めガイドに触れる恐れがあります。

取り外し

フットプレート⑦の前方から、バリ止めガイドを引き出します。

● ベースプレート(標準付属品)を使う

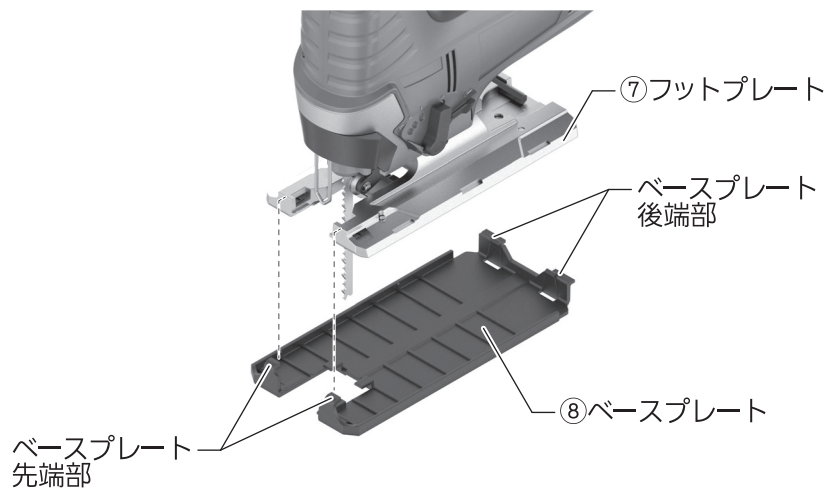
ベースプレート⑧を取り付けると、材料表面の傷つきを防ぎます。



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ベースプレート⑧を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

使
い
方



取り付け

1. フットプレート⑦の先端に、ベースプレート⑧の先端部を引っ掛けます。
2. ベースプレート⑧の後端を持ち上げ、フットプレート⑦の後端部に押し込みます。

取り外し

1. フットプレート⑦の後端から、ベースプレート⑧の後端部を取り外します。
2. フットプレート⑦の先端から、ベースプレート⑧先端部を取り外します。

● 透明防じんカバー (標準付属品) を使う

吸じんシステムと接続して使用するときに取り付けます。

☞ 吸じんシステムを接続しないときや、傾斜角度をつけて切断するときは取り外してください。



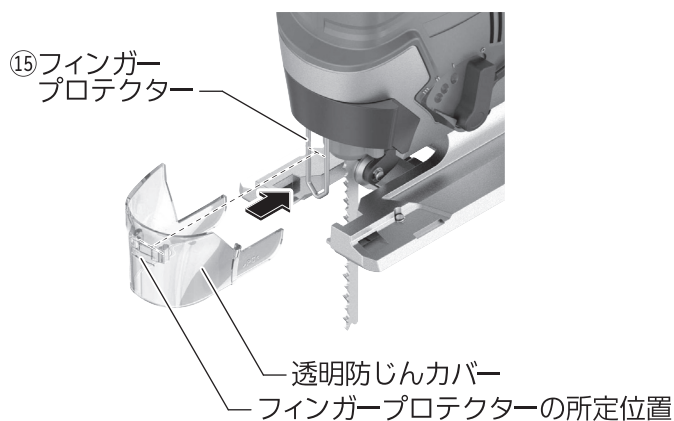
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、透明防じんカバーを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

取り付け

透明防じんカバーを、電動工具本体の正面から後方 (バッテリー側) に向かって押し込みます。

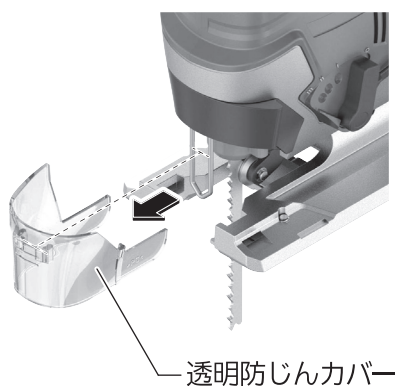
フィンガープロテクター⑮が透明防じんカバーの所定の位置に固定されるまで押し込んでください。



使
い
方

取り外し

透明防じんカバーを手前 (電動工具本体の正面側) に引き抜きます。



● 円曲・平行ガイド(別売品)を使う

円曲・平行ガイドを使用すると、円曲(丸形状)切断や平行切断が正確に行えます。

🔧 円曲・平行ガイドが使用できる材料の厚さは、最大30mmです。

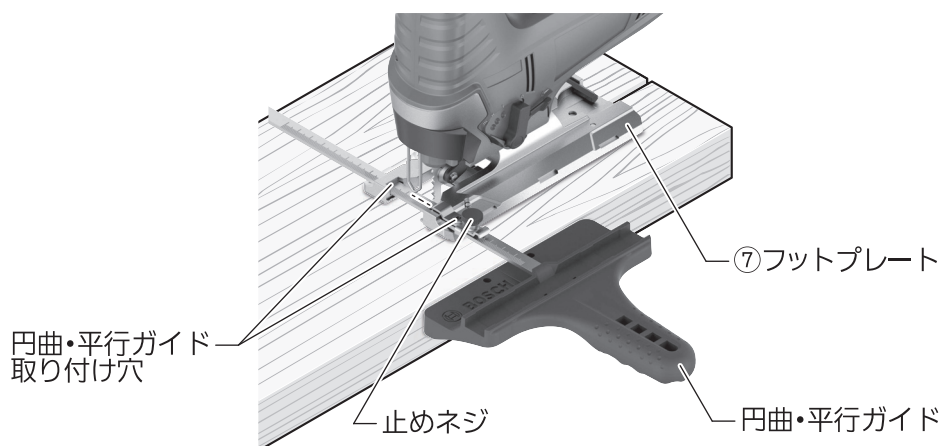


警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、円曲・平行ガイドを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

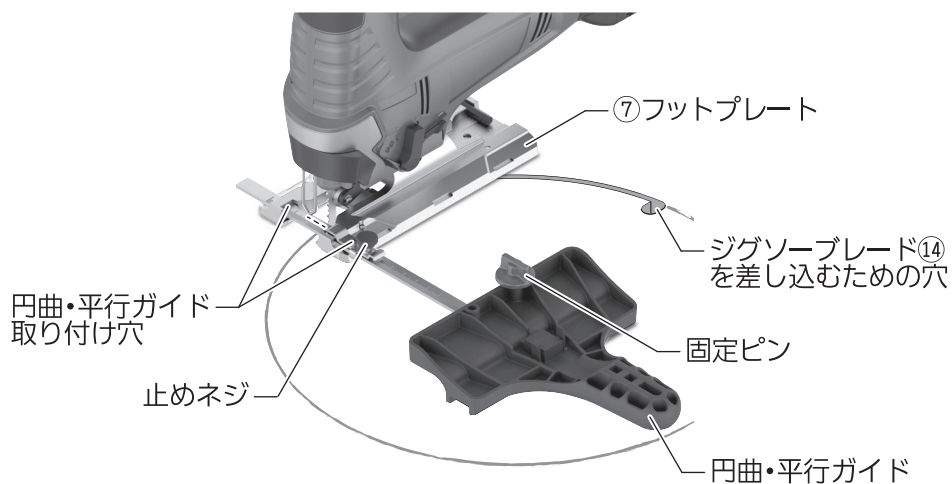
平行切断

使
い
方



1. フットプレート⑦の円曲・平行ガイド取り付け穴に円曲・平行ガイドを図の向きで差し込みます。
2. 円曲・平行ガイドを材料の側面に当てます。
3. 円曲・平行ガイドの目盛りを利用して、切断する幅(長さ)にジグソーブレード⑭の位置を調節します。(最大200mm)
🔧 ジグソーブレード⑭の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
ジグソーブレード⑭の厚みを測り、円曲・平行ガイドの位置を調節してください。
4. 止めねじを締めて、円曲・平行ガイドを固定します。
5. 「作業する」(28ページ)の①項～⑨項の手順で切断します。

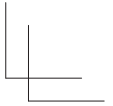
円曲切断



使
い
方

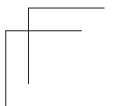
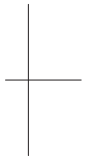
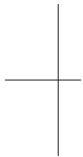
- ☞ 切断中に、固定ピンが円の中心からずれないように、しっかり刺してください。
- ☞ 丸い開口部を作る場合は、固定ピンの代わりに木ビスを使用すると、円曲・平行ガイドが確実に固定でき、容易に作業ができます。

1. 切り抜く円の切断ライン上に、ジグソーブレード⑭を差し込む穴をあけます。ジグソーブレード⑭を差し込むのに十分な大きさの穴をあけてください。
2. ジグソーブレード⑭を穴に通し、電動工具体を材料に設置します。
3. フットプレート⑦の円曲・平行ガイド取り付け穴に円曲・平行ガイドを図の向き(平行切断の時とは逆に裏返して)で差し込みます。
4. 円曲・平行ガイドの目盛りを利用して、切断半径にジグソーブレード⑭の位置を調節します。(半径80～205mmに調整できます)
 - ☞ ジグソーブレード⑭の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
 - ジグソーブレード⑭の厚みを測り、円曲・平行ガイドの位置を調節してください。
5. 止めねじを軽く締めて、円曲・平行ガイドを仮に固定します。
6. 円曲・平行ガイドの先端から固定ピンを抜きます。
7. 円曲・平行ガイドの固定ピン差し込み穴に固定ピンを差し込み、円の中心に固定ピンを刺して、円曲・平行ガイドを固定します。
8. 止めねじを締めて、円曲・平行ガイドを固定します。



9. 「作業する」(28ページ)の①項～⑨項の手順で切断します。

 逆回りで切断するときは、円曲・平行ガイドをイラストとは反対側から差し込み、同じ要領で設定してください。



吸じんシステム(別売品)と接続する

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続することで、吸じんしながら作業ができます。

各種ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続する場合は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』の「クリーナー・ライト・その他」の「吸じんシステム」のページを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)には、当機種との接続に適合するものと、適合しないものがあります。

また、アダプター(別売品)などが必要な場合があります。

(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています)

使
い
方

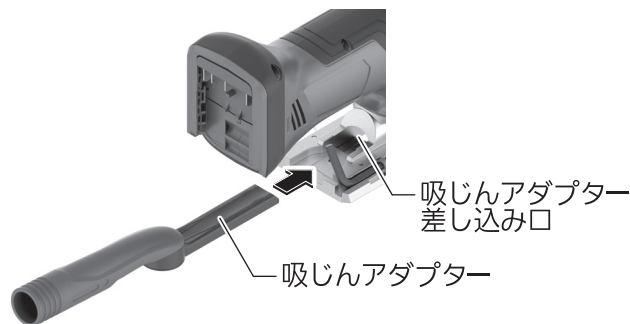
取り付け

1. 電動工具本体に、透明防じんカバーを取り付けます。
(43ページ「透明防じんカバー(標準付属品)を使う」参照)
2. フットプレート後部の吸じんアダプター差し込み口に、吸じんアダプター(標準付属品)を差し込みます。

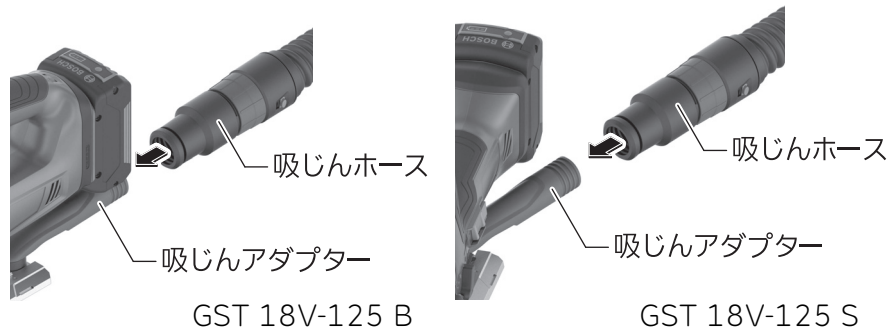


警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんアダプターを取り付くときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。



3. 吸じんアダプターに吸じんホースを接続します。



使
い
方

4. 吸じんホースとボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機を接続します。
5. 「フロア“入/切”スイッチ⑨」を“切(○)”側にします。

取り外し

1. 吸じんホースをボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機から取り外します。
2. 吸じんアダプターから吸じんホースを取り外します。
3. 吸じんアダプターをフットプレート⑦から取り外します。



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんアダプターを取り外すときは、必ず電動工具本体からバッテリー⑤を取り外してください。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

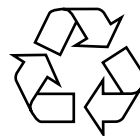
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ
バ
ッ
テ
リ
ー
に
て

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

お手入れと保管



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤を電動工具本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- 通風口やローラーガイド⑫、ブレードホルダー⑬などの切り粉、ホコリを取り除く

☞ 電動工具本体に切り粉やホコリがたまると故障の原因になります。

- バッテリー取り外しボタン⑥やバッテリー差し込み部に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

- 乾いた、柔らかい布で電動工具本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



お手入れと
保管

ジグソーブレードのお手入れ



警告

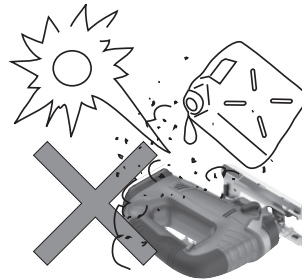
◆ ジグソーブレード⑭は、歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

- ジグソーブレード⑭に付着した切り粉、ホコリを取り除く

保 管

● 使った後は、バッテリー⑤を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。



電動工具(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動工具本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各
地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

保
お
手
入
れ
と
管

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ②」を“入”にしても、動作しない	バッテリー⑤が消耗している	バッテリー⑤を充電するか、交換する
「メインスイッチ②」が引き込めない (GST 18V-125 B)	「メインスイッチ②」がロックされている	「メインスイッチロック解除スイッチ①」の“  解除側”を押し込んで、「メインスイッチ②」を引き込む
切断に時間がかかる (切断できない)	ジグソーブレード⑭が摩耗している	ジグソーブレード⑭を交換する
	バッテリー⑤が消耗している	バッテリー⑤を充電するか、交換する
充電しても、フル充電しない または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑤の寿命が尽きた	バッテリー⑤を交換する
厚い材料、硬い材料を切断中に突然止まった	モーターに大きな負荷がかかって、モーター焼損防止のEMP機能が作動した	「メインスイッチ②」を一度“切”にして、再度“入”にする

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困
った
とき
は

**プロ用電動工具・メジャーリングツール
保証サービス『PRO360』のご案内**

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。
保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>

MEMO

MEMO